

(第一紙) T13p067b05~

- 1 大方等大集經海慧菩薩品之五¹「²十一²
- 2 爾時海慧菩薩白仏言世尊菩薩摩訶薩若
- 3 有具足如是等見發何等願仏言善男子如
- 4 是之人如本發願菩薩摩訶薩若心在定若
- 5 不在定³為衆生故如本發願善男子譬如人
- 6 有甘蔗稻田具滿一須³其地平正欲溉灌時
- 7 開其水口縱之令去更不施功自然周遍⁴善
- 8 男子菩薩摩訶薩亦復如是若在中繫心
- 9 思惟若不在定不思惟時為衆生故如本發
- 10 願所作善根悉皆願與衆生共之共已迴向
- 11 无⁴上仏法菩薩心淨戒忍定慧亦復清淨觀
- 12 於仏法及諸衆生平等⁵无⁵二雖有是願初⁶无⁶
- 13 有心是故菩薩雖復⁷无⁷心於諸衆生而誓願
- 14 力未常不及所有善根悉與共之共已迴向
- 15 无⁸上菩提善男子如娑羅樹有人斫伐根既
- 16 斷已隨斫而倒善男子菩薩摩訶薩亦復如
- 17 是脩⁹集二昧常向菩提使使人唱言是樹
- 18 莫斫処墮是樹猶故隨斫処倒菩薩摩訶薩
- 19 亦復如是所脩⁹善法欲令不向¹⁰无¹⁰上菩提則
- 20 无¹¹是処何以故法性爾故菩薩摩訶薩所脩¹¹
- 21 善法唯為不斷三宝種性為淨仏土為莊嚴
- 22 身三十二相八十種好為莊嚴口説法之時

(第一紙) T13p067b28~

- 1 之五¹第五之四【大】
- 2 二¹一【大】
- 3 須¹頃【大】 大正蔵に校注なし。「須」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「頃」(朱書)あり。
- 4 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 5 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 6 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 7 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 8 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 9 脩¹修【大】 大正蔵に校注なし。
- 10 脩¹修【大】 大正蔵に校注なし。
- 11 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 12 无¹無【大】 大正蔵に校注なし。
- 13 脩¹修【大】 大正蔵に校注なし。

- 1 衆生樂聞為莊嚴心觀諸衆生平等无¹¹一為
- 2 得仏法諸仏三昧菩薩雖不貪如是法而能
- 3 自在得如是法何以故誓願力故善男子譬
- 4 如壑¹⁵師泥在輪時不得物名既成器已名隨
- 5 物立菩薩善法亦復如是未發願時則不能
- 6 得波羅蜜名是故菩薩一切善法要當發願
- 7 善男子譬如金師金未成器亦不得名及其
- 8 成已得纓絡¹⁵名菩薩善法亦復如是未發願
- 9 時則不能得波羅蜜名善男子譬如比丘欲
- 10 入滅定先立誓願我今入定若捷¹⁹鳴乃當
- 11 起出而是定中无¹⁸捷捷¹⁹音以願力故鳴捷捷¹⁸
- 12 時則便出定善男子菩薩摩訶薩亦復如是
- 13 憐愍衆生作如是願諸未度者我當度之諸
- 14 未脫者我當脫之脩¹³菩提時入深三昧以悲
- 15 力故念諸衆生不證聲聞辟支仏乘是故菩
- 16 薩雖復脩¹³集二十七品而不得果善男子菩
- 17 薩所行不可思議雖入深定亦不證得沙門
- 18 道果善男子譬如二人欲過猛火其一人者
- 19 着金剛鎧即能過之其一人者身被乾草為
- 20 火所焚何以故草則易燒金剛堅¹³故菩薩摩
- 21 訶薩亦復如是憐愍衆生專念菩提莊嚴甚
- 22 深无²⁴量三昧以三昧力能過聲聞緣覺正位
- 23 不取果證從定起已得正覺道如來三昧被
- 24 乾草者喻於聲聞聲聞之人厭悔生死於諸

(第二紙) T13p067c24~

1 衆生无²⁵慈悲心是故不能過於聲聞緣覺正

- 14 无无¹⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 15 壑无¹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 16 纓絡无¹⁶【大】 大正蔵に校注なし。
- 17 捷无¹⁷【大】 大正蔵の校注の内容(椎无¹⁷錘无¹⁷(聖无¹⁷*)が正確ではない。
- 18 无无¹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
- 19 捷无¹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
- 20 捷无²⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 21 脩无²¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 22 脩无²²【大】 大正蔵に校注なし。
- 23 剛无²³【大】 大正蔵に校注なし。
- 24 无无²⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 25 无无²⁵【大】 大正蔵に校注なし。

- 2 位何以故二乘之人於福德中生知足想善
 3 薩之人於福德中心无²⁶厭足金剛鎧喻空无²⁵
 4 相願大猛火者喻諸行法菩薩摩訶薩觀一
 5 切空法无²⁸相願而能不證沙門道果世尊菩
 6 薩摩訶薩具足是事不可思議脩是²⁹是三昧而
 7 不取證行生死火不為所燒菩薩摩訶薩成
 8 就方便入一切定亦不為定之所誑惑具足是³¹方便
 9 故雖行諸行心无³²染着雖為邪見說沙門果亦
 10 自不證沙門道果佻言善男子善哉善哉實
 11 如汝說善男子如三染汁盛以一器所謂羅
 12 差鬱金青黛染三種物所謂毘毘及僑奢
 13 邪衣³⁴毘³⁵以³⁶採³⁷浸³⁸則成青色毘³⁹淨⁴⁰浣⁴¹故成於黃
 14 色僑奢邪衣⁴²先以灰浸則成赤色如是二物雖
 15 同一器受色各異善男子三乘之人亦復如
 16 是器者喻於空无⁴³相願三種色者喻於聲聞
 17 緣覺菩薩隨衣受色喻三種菩提空无⁴⁴相願
 18 亦不生念与如是果不与是果善男子毘喻
 19 聲聞毘緣覺僑奢邪⁴⁵衣喻菩薩乘菩薩摩
 20 訶薩見一切法如聾如盲无⁴⁶有衆生如是見
 21 時心无⁴⁷染着无⁴⁸有悔退是時心中真実了知
 22 我於衆生非有利益非无⁴⁹利益亦為衆生脩是⁵⁰

- 26 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 27 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 28 空法||法空【大】 大正蔵に校注なし。「法」の右上に訂正符らしき朱点あり。
 29 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 30 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 31 【足】—【大】 大正蔵に校注なし。
 32 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 33 【善男子】—【大】 大正蔵に校注なし。
 34 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
 35 採||漿【大】 大正蔵に校注なし。「採」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「漿」（朱書）あり。
 36 毘||疊【大】 大正蔵に校注なし。
 37 「浣？」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「浣？」（朱書）あり。
 38 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
 39 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 40 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 41 毘||疊【大】 大正蔵に校注なし。
 42 邪||耶【大】 大正蔵に校注なし。
 43 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 44 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 45 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 46 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 47 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

23 集大悲善男子譬如微妙淨瑠璃宝雖復在
24 泥經歷百年其性常淨出已如本菩薩摩訶

(第四紙) T13p068a19~

- 1 薩亦復如是了知心相本性清淨客塵煩惱
- 2 之所障汚而客塵煩惱實不能汚清淨之心
- 3 猶珠在泥不為泥汚菩薩摩訶薩作如是念
- 4 若我心性煩惱汚者我当云何能化衆生是
- 5 故菩薩常樂脩集福德莊嚴樂在諸有供養
- 6 三宝樂為衆生趨走供使於生貪處不起貪
- 7 心護持正法樂行惠施具足淨戒莊嚴忍辱
- 8 勤行精進莊嚴禪枝脩集智慧多聞无厭清
- 9 淨梵行脩大神通三十七品善男子菩薩摩
- 10 訶薩行如是法不為煩惱之所染汚不着三
- 11 界菩薩摩訶薩行善方便功德力故雖行三
- 12 界身心不汚善男子譬如長者唯有一子心甚
- 13 愛念其于遊戲誤墜圜廁時母見已穢惡不
- 14 淨父後見之呵責其母即便入廁牽之令出
- 15 出已淨洗愛因緣故忘其臭穢善男子長者
- 16 父母喻於声聞緣覺菩薩則喻三界子喻衆
- 17 生母不能拔喻声聞緣覺父能拔濟喻諸菩
- 18 薩愛因緣者喻於大悲菩薩摩訶薩具善方
- 19 便入於三界不為三界之所染汚是故道有
- 20 二種一者声聞二者菩薩声聞道者厭於三
- 21 界菩薩道者不厭三界善男子菩薩脩集空
- 22 无相願雖行諸有不墮於有既不墮有復不
- 23 取證行三界者是名方便不取證者是名智
- 24 慧善男子菩薩摩訶薩觀一切法无有二相

48 瑠璃ニ疏【大】 大正藏に校注なし。
 49 〔塵〕一【大】 大正藏に校注なし。
 50 脩ニ修【大】 大正藏に校注なし。
 51 枝ニ支【大】 大正藏に校注なし。
 52 脩ニ修【大】 大正藏に校注なし。
 53 无ニ無【大】 大正藏に校注なし。
 54 脩ニ修【大】 大正藏に校注なし。
 55 穢惡ニ惡穢【大】 大正藏に校注なし。
 56 脩ニ修【大】 大正藏に校注なし。
 57 无ニ無【大】 大正藏に校注なし。
 58 无ニ無【大】 大正藏に校注なし。

(第五紙) T13p068b14~

- 1 若觀法等衆生亦等如是等者涅槃亦等是
- 2 名智慧若能如是等觀衆生不證涅槃是名
- 3 方便清淨慧⁸⁰施是名為慧發願迴向是名方
- 4 便世尊云何名為清淨智慧清淨方便善男
- 5 子菩薩若見无⁸¹我衆生壽命士夫是名為慧
- 6 若脩⁸²集空无⁸³相无⁸⁴願以諸善根願及衆生迴
- 7 向菩提是名方便復次善男子知諸衆生下
- 8 中上根是名為慧⁸⁵知已隨意而為說法是名
- 9 方便淨智慧故雖行諸有心无⁸⁶染着淨方便
- 10 故雖脩⁸⁷一乘不證其果善男子若能不為一
- 11 切煩惱之所污染是名為慧能調衆生悉令
- 12 趣向阿耨多羅三藐三菩提是名方便菩薩
- 13 發願悉令衆生得无⁸⁸盡財无⁸⁹盡福德增長善
- 14 根諸学无⁹⁰学声聞緣覺一切菩薩隨意得法
- 15 名淨方便若能受持一切佛法分別說无⁹¹
- 16 窮盡說无⁹²障礙說不空而說隨樂而說是名
- 17 淨慧菩薩摩訶薩生生之處不失无⁹³上菩提
- 18 之心是名淨慧生生之處所作善法願及衆
- 19 生名淨方便淨慧因緣知菩提心无⁹⁴住无⁹⁵根
- 20 淨方便故化諸衆生趣於菩提世尊菩薩摩
- 21 訶薩若具如是二淨所作諸業无⁹⁶非菩提何
- 22 以故一切法中悉有闍障壞闍障故即是菩

- 59 慧||恵【大】 大正蔵に校注なし。
- 60 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 61 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 62 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 63 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 64 慧||悲【大】 大正蔵に校注なし。
- 65 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 66 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
- 67 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 68 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 69 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 70 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 71 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 72 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 73 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 74 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
- 75 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

23 提是故菩薩常不遠離於菩提也菩薩若作
24 如是念言我離菩提当知是人不得菩提若

(第六紙) T13p068c09~

- 1 念我今有菩提者是人菩提有淨不淨若能
- 2 如是觀諸法者即得菩提即是淨智方便也
- 3 善男子過去无76量阿僧祇劫有仏出世号无77
- 4 辺光如来応供78正遍知明行足善逝世間解
- 5 无79上土調御丈夫天人師仏世尊土名不眴
- 6 劫名光味爾時世尊初坐道場菩提樹下未
- 7 成仏時十方世界一生補処不退菩薩悉来
- 8 觀見来80至其所81以種種華而供養之華処空
- 9 中高七多羅樹成仏道已放大光明遍照十
- 10 方十方世界多有諸天見仏光已各作是言
- 11 无82辺光仏真実出世彼仏世界莊嚴麗飾如
- 12 彼他化自在天宮彼劫初時過十千年有仏
- 13 出世号曰光味是故此劫名曰光味善男子
- 14 光味劫中有十四億諸仏如来出現於世其
- 15 仏世界有九万六千小国一一国土縦広八
- 16 万四千由旬一一国有八万四千城其城縦
- 17 広満一由旬一一城中居止人民八万四千彼
- 18 土具足如是等事其土純以四宝校飾所
- 19 謂金銀瑠璃83頗梨多饒飲食无84所乏少其土
- 20 人民无85我我所猶如北方鬱单越土其仏寿
- 21 命満十中劫声聞大衆九万六千億菩薩大
- 22 衆万二千億土有二城一名衆二名淨其
- 23 仏世尊生於淨城住於楽城其土有王名曰
- 24 浄声七宝具足統領三千大千世界後宮嫒女

76 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 77 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 78 〔供〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 79 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 80 〔来〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 81 〔已〕+【大】 大正蔵に校注なし。
 82 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 83 瑠||琉【大】 大正蔵に校注なし。
 84 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 85 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

(第七紙) T13p069a04

- 1 三万六千姿顏端嚴如天⁹⁸別有十万子雄
- 2 猛勇健悉皆具半那羅延力各各成就⁹⁸升⁹⁸八
- 3 相一切皆發阿耨多羅三藐三菩提心有八
- 4 万女清淨⁹⁸无⁹⁸穢形容⁹⁸瓊⁹⁸異如天⁹⁸无⁹⁸差一切亦
- 5 發阿耨多羅三藐三菩提心其王爾時經二
- 6 劫中供養如來及声聞菩薩大衆為如來故
- 7 造作宝坊滿五百⁹⁸由旬是宝坊中復有宝楼
- 8 其数十万為供養僧爾時聖王与其眷属
- 9 一切皆脩⁹⁸清淨梵行時仏教化⁹⁸无⁹⁸量衆生於大
- 10 乘法復化⁹⁸无⁹⁸数於声聞乘爾時其王供養仏
- 11 已与諸眷属俱至仏所頭面礼足右繞⁹⁸恭敬
- 12 長跪合掌白仏言世尊云何菩薩脩⁹⁸行大乘
- 13 不随他語云何菩薩生得畢竟云何菩薩得
- 14 无⁹⁷所住云何菩薩得⁹⁸動慧云何菩薩得清
- 15 淨慧云何菩薩力能遠見云何菩薩諸根猛
- 16 利云何菩薩具足仏土云何菩薩行不放逸
- 17 云何菩薩聞甚深法心不怖畏云何菩薩得
- 18 名菩薩仏言大王有四事法脩⁹⁸行大乘不随
- 19 他語何等為四一者具足聖信出於世間¹⁰⁰二
- 20 者具足智慧觀諸法性三者具諸神通四者
- 21 脩¹⁰⁰淨精進為化衆生大王菩薩具足如是四法
- 22 脩¹⁰⁰行大乘不随他語復有四法生得畢竟何
- 23 等為四一者知於善法為調伏心二者不

86 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 87 卅⁹⁸二十【大】 大正蔵に校注なし。
 88 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 89 瓊⁹⁸瑰【大】 大正蔵に校注なし。
 90 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 91 【百】一【大】
 92 脩⁹⁸修【大】 大正蔵に校注なし。
 93 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 94 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 95 繞⁹⁸遶【大】 大正蔵に校注なし。
 96 脩⁹⁸修【大】 大正蔵に校注なし。
 97 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 98 无⁹⁸無【大】 大正蔵に校注なし。
 99 脩⁹⁸修【大】 大正蔵に校注なし。
 100 間⁹⁸界【大】 大正蔵に校注なし。
 101 脩⁹⁸修【大】 大正蔵に校注なし。
 102 脩⁹⁸修【大】 大正蔵に校注なし。

24 貪已樂三者為諸衆生脩¹⁰³集慈悲四者常樂

(第八紙) T13p069a28~

- 1 大乘是名為四大王復有四法得无¹⁰⁴所住何
- 2 等為四一淨於心二淨莊嚴三離虛誑四脩¹⁰⁵
- 3 堅慧為具福德是名四法大王復有四法得淨
- 4 智慧何等為四一者淨眼二者以四撰法撰
- 5 取衆生三者淨身卅¹⁰⁶二相八十種好四淨
- 6 仏土觀淨法界是名為四大王復有四法能
- 7 得遠見諸根猛利何等為四一者念菩提樹
- 8 不捨菩提心二者念仏智慧亦不着智三¹⁰⁷念
- 9 法身脩¹⁰⁸集於空无¹⁰⁹相无¹¹⁰願四者念仏涅槃於
- 10 生死中心无¹¹¹厭悔是名為四大王復有四法
- 11 具足仏土行不放棄何等為四一者受帝釈
- 12 身為化諸天令不放棄二者受梵天身為化
- 13 諸天令不放棄三者受轉輪王身為化衆生
- 14 令不放棄四者受於大臣長者之身具足珍
- 15 宝為化衆生令不放棄是名為四大王復有
- 16 四法聞甚深法心不怖畏何等為四一者親
- 17 近善友二者善友為説甚深仏法三者能善¹¹²
- 18 思惟四者如法而住是名為四大王復有四
- 19 法得菩薩名何等為四一者求波羅蜜二者
- 20 為諸衆生脩¹¹³集悲心三者樂求仏法四者化
- 21 衆生時心不厭悔是名為四善男子時淨声
- 22 王從彼如来聞是法已及諸眷属一切皆得
- 23 无¹¹⁴生法忍捨其国土於仏法中出家脩¹¹⁵道爾
- 24 時世尊告彼王言大王汝今出家即是報仏

103 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 104 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 105 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 106 卅||三十【大】 大正蔵に校注なし。
 107 (者)+【大】 大正蔵に校注なし。
 108 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 109 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 110 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 111 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 112 能善||善能【大】 大正蔵に校注なし。
 113 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 114 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 115 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

(第九紙) T13p069b23~

- 1 若能如是生信捨離是名大報是¹¹⁶大¹¹⁷功德多
- 2 所利益大王菩薩出家有二十四利益之事
- 3 何等為二十四一者捨於¹¹⁸世於¹¹⁹世事得大自
- 4 在二者捨於煩惱獲得解脫三者身服染衣
- 5 得¹²⁰无¹²¹染道四者具足四事得四性種五者樂於
- 6 頭陀遠離一切大欲惡欲六者不捨戒聚受人
- 7 天樂七者不捨菩提獲得佛法八者常樂寂
- 8 靜離世談語九者不着法故得大淨心十者
- 9 具足禪¹²²枝¹²³得禪定故十一者求於多聞得智
- 10 慧故十二者破壞憍慢得智慧故十三者破
- 11 除邪見得正見故十四者不生覺觀為真寔
- 12 知諸法界故十五者等觀衆生得大慈故十
- 13 六者化諸衆生心¹²⁴无¹²⁵疲倦得大悲故十七者
- 14 不惜身命為護法故十八者寂靜其心為得
- 15 神通故十九者念於如來為見仏故二十者
- 16 脩¹²⁶善思惟為得十二緣¹²⁷智慧故二十¹²⁸十¹²⁹一者
- 17 得於順忍二十二者得¹³⁰无¹³¹生忍二十三信
- 18 一切功德二十四者得仏智慧是名二十四
- 19 善男子爾時聖王聞是法已轉以教化一切
- 20 男女眷属臣民時彼国中有九万九千億衆
- 21 生悉共出家善男子淨声比丘既出家已復
- 22 白仏言世尊我今云何得名出家仏言比丘
- 23 汝名淨声当淨自界自界既淨則名比丘則
- 24 名出家爾時比丘聞仏説已心樂寂靜作是

(第十紙) T13p069c18~

- 1 思惟界者即眼觀眼空者即是淨界夫淨界

116 大||名【大】 大正蔵に校注なし。
 117 【世於】-【大】 大正蔵に校注なし。
 118 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 119 枝||支【大】 大正蔵に校注なし。
 120 无||無【大】 大正蔵に校注なし。
 121 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。
 122 【深】+【大】 大正蔵に校注なし。「縁」の右下に「深」(朱書)あり。
 123 【十】-【大】 大正蔵に校注なし。「十」の中央に朱点(訂正符か)あり。
 124 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

- 2 者即是仏土耳鼻舌身亦復如是意者即界
- 3 若觀意空即是淨界夫淨界者即是仏土即
- 4 是一界即是空界即衆生界即无¹²⁵相界即无¹²⁶
- 5 願界即无¹²⁷作界即无¹²⁸為界善男子淨声比丘
- 6 如是觀已即時獲得身輕心輕身心輕已得
- 7 无¹²⁹量神通得神通已得樂說无¹³⁰礙陀羅尼門
- 8 善男子汝知爾時淨声比丘豈異人乎即汝
- 9 身是男子¹³¹眷属即汝所將來菩薩聽法衆是
- 10 說是伊帝曰多伽時万八千人發阿耨多羅
- 11 三藐三菩提心八千衆生得无¹³²生忍善男子
- 12 若有欲得阿耨多羅三藐三菩提者当如法
- 13 說如說而住云何名為如法而說如說而
- 14 住善男子若有人言我当作仏請諸衆生許
- 15 以法味請已不能受持誦誦分別解說微妙
- 16 經典不能護持清淨禁戒勤脩¹³³精進不脩¹³⁴知
- 17 足於善法中少得知足是名欺誑不如法說
- 18 不如說住若有人言我当作仏請諸衆生許
- 19 以法味請已受持誦誦演說護持禁戒勤脩¹³⁵
- 20 精進少欲知足多得善法不生足想是名不
- 21 誑如法而說如法¹³⁶而住善男子譬如國王多
- 22 請賓客請已不設供賓之具賓客既至方云
- 23 未辨¹³⁷於是賓客各作是言昨受王請家不設
- 24 食今赴王信復无¹³⁸所得呵責愁恚怨歎啼泣

(第十一紙) T13p070a13~

1 善男子菩薩摩訶薩請諸衆生許以法食不

- | | | |
|-----|---------|-----------|
| 125 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 126 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 127 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 128 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 129 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 130 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 131 | 子 女【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 132 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 133 | 脩 脩【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 134 | 脩 脩【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 135 | 脩 脩【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 136 | 法 說【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 137 | 辨 辦【大】 | 大正藏に校注なし。 |
| 138 | 无 無【大】 | 大正藏に校注なし。 |

- 2 求多聞持戒精進不脩¹³⁹ 三十七助道法衆生
- 3 呵責人天涕泣善男子菩薩摩訶薩若能如
- 4 作応如作説不応欺誑一切衆生復次善男
- 5 子復有衆生請求菩薩為我説法菩薩許言
- 6 當為汝説許已放逸衆生既見菩薩放逸即
- 7 便觀¹⁴⁰ 喻既勸喻已方為説法説時或問甚深
- 8 之義以放逸故而不能答不能答故心生慙¹⁴¹ 愧
- 9 護於身心誑於衆生而便捨離善男子菩
- 10 薩若欲如説而住无¹⁴² 惜身心以誑¹⁴³ 衆生善男
- 11 子過去世有一師子王住深山窟常作是念
- 12 我是一切獸中之王力能視護一切諸獸時
- 13 彼山中有二獼猴共生二子時獼猴向師
- 14 子王作如是言王若能護一切獸者我今二
- 15 子以相委付我欲余行求覓飲食時師子王
- 16 即便許可時彼獼猴留其二子付彼獸王即
- 17 捨而行是時山中有一鷲王名利見師子王
- 18 眠即便搏取獼猴二子処嶮而住時王悟¹⁴⁴ 已
- 19 即向鷲王而説偈言
- 20 我今啓請大鷲王 唯願至心受我請¹⁴⁵
- 21 幸見為故放捨之 莫令失信生慙¹⁴⁶ 恥
- 22 鷲王説偈報師子王
- 23 我能飛行遊虛空 已過汝界心无¹⁴⁷ 畏
- 24 若必欲¹⁴⁸ 護是二子¹⁴⁹ 為我故応捨是身
- 25 師子王言

(第十一紙) T13p070b10~

1 我今為護是二子 捨身不惜如枯草

¹³⁹ 脩 || 修 【大】 大正蔵に校注なし。
¹⁴⁰ 觀 || 勸 【大】 大正蔵に校注なし。「觀」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「勸」(朱書)あり。

¹⁴¹ 慙 || 慚 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴² 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴³ 誑 || 護 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁴ 悟 || 寤 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁵ 請 || 語 【大】

¹⁴⁶ 慙 || 慚 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁷ 无 || 無 【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁴⁸ (欲) - 【大】

¹⁴⁹ (者) + 【大】

- 2 若我護身而妄語 云何得称如説行
- 3 説是偈已即至高処欲捨其身
- 4 爾時鷲王復説偈言
- 5 若為他故捨身命 是人即受无¹⁶²上樂
- 6 我今放¹⁶¹汝獼猴子 願大法王莫自害
- 7 善男子¹⁶²師子王者¹⁶³即我身是雄獼猴者即迦
- 8 葉是雌獼猴者善護比丘尼是二獼猴子即
- 9 今阿難羅睺羅是時鷲王者即舍利弗是善
- 10 男子菩薩為護是依止者不惜身命善男子
- 11 云何名為如説而住¹⁶⁴菩薩若言我当惠施即
- 12 便大施是名菩薩如説而住¹⁶⁵菩薩若言我能
- 13 持戒即化一切同己護戒是名菩薩如説而
- 14 住¹⁶⁶菩薩若言我脩¹⁶⁷忍辱即化衆生同脩¹⁶⁸忍辱
- 15 是名菩薩如説而住¹⁶⁹菩薩若言我勤精進為
- 16 於仏法即化衆生同脩¹⁷⁰精進為於仏法是名
- 17 菩薩如法¹⁷¹而住¹⁷²菩薩若言我脩¹⁷³禪定即化衆
- 18 生除去乱心脩¹⁷⁴集禪定是名菩薩如説而住¹⁷⁵
- 19 菩薩若言我脩¹⁷⁶智慧如法分別是名菩薩如法¹⁷⁷
- 20 而作善男子菩薩若言我当壊破一切惡法
- 21 即便脩¹⁷⁸集一切善法是名菩薩如説而住¹⁷⁹善
- 22 男子能莊嚴者名為如説能畢竟者名為如

- 180 无¹⁸⁰無【大】 大正蔵に校注なし。
- 181 放¹⁸¹施【大】 大正蔵に校注なし。
- 182 〔時〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 183 〔者〕-【大】 大正蔵に校注なし。
- 184 住¹⁸⁴作【大】 大正蔵の校注には「作¹⁸⁴住¹⁸⁴」*とある。
- 185 住¹⁸⁵作【大】 大正蔵に校注なし。
- 186 住¹⁸⁶作【大】 大正蔵に校注なし。
- 187 脩¹⁸⁷修【大】 大正蔵に校注なし。
- 188 脩¹⁸⁸修【大】 大正蔵に校注なし。
- 189 住¹⁸⁹作【大】 大正蔵に校注なし。
- 190 脩¹⁹⁰修【大】 大正蔵に校注なし。
- 191 法¹⁹¹説【大】 大正蔵に校注なし。
- 192 住¹⁹²作【大】 大正蔵に校注なし。
- 193 脩¹⁹³修【大】 大正蔵に校注なし。
- 194 脩¹⁹⁴修【大】 大正蔵に校注なし。
- 195 住¹⁹⁵作【大】 大正蔵に校注なし。
- 196 脩¹⁹⁶修【大】 大正蔵に校注なし。
- 197 法¹⁹⁷説【大】 大正蔵に校注なし。
- 198 脩¹⁹⁸修【大】 大正蔵に校注なし。
- 199 住¹⁹⁹作【大】 大正蔵に校注なし。

23 住¹⁷⁰能發心者名為如說得果證者名為如住¹⁷¹
 24 能淨心者名為如說能至心者名為如住¹⁷²能

(第十一紙) T13p070c05~

- 1 發心者名為如說不退心者名為如住¹⁷³至心
- 2 聽法名為如說聞已如住名為如住¹⁷⁴能淨口
- 3 者名為如說能淨身者名為如住¹⁷⁵初受戒者
- 4 名為如說至心護持名為如住¹⁷⁶發菩提心名
- 5 為如說行菩提¹⁷⁷道是名如住¹⁷⁸得住忍地名為
- 6 如說住不退地名為如住¹⁷⁹得一身名為如
- 7 說得後邊身名為如住¹⁸⁰趣菩提樹名為如說
- 8 得菩提果名為如住¹⁸¹善男子是名菩薩如法
- 9 而說如說而住¹⁸²說是法時五百菩薩住无¹⁸³生
- 10 忍地爾時會中有一菩薩名曰蓮華白佉言
- 11 世尊如佉所說如說如住¹⁸⁴不可思議如佉所
- 12 住即是如說即是如住¹⁸⁵善男子汝於是事能
- 13 了知不已知世尊若知正法是真寔者名如
- 14 法住山王菩薩言世尊无¹⁸⁶所住法名如法住
- 15 何以故見一切法无¹⁸⁷有覺故以无¹⁸⁸覺故不見
- 16 一法名之為覺若无¹⁸⁹一法云何有住若如是
- 17 見名如法住福德王菩薩言世尊若隨心者

170 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 171 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 172 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 173 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 174 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 175 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 176 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 177 提||薩【大】 大正藏に校注なし。
 178 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 179 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 180 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 181 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 182 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 183 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 184 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 185 住||作【大】 大正藏に校注なし。
 186 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 187 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 188 无||無【大】 大正藏に校注なし。
 189 无||無【大】 大正藏に校注なし。

- 18 非如法住若有菩薩觀竟¹⁹⁰。如幻名為无¹⁹¹。住若
- 19 无¹⁹²。住者名如法住。然燈菩薩言世尊无¹⁹³。有貪
- 20 心名如法住。云何貪心。謂於法中有損有益。
- 21 若无¹⁹⁴。貪心名如法住。日子菩薩言世尊若有
- 22 菩薩有所着者。是名為動。若於法中心无¹⁹⁵。所
- 23 着。是名无¹⁹⁶。動。若无¹⁹⁷。有動名如法住。勇健菩薩
- 24 言世尊一切世間皆随心行。若知心行名如

(第十四紙) T13p071a01~

- 1 法住樂見菩薩言世尊如仏所説因受受苦
- 2 若能不受諸受。則斷若能不取諸取。則斷。雖
- 3 不受受¹⁹⁸。不捨衆生名如法住。香象¹⁹⁹。菩薩言世
- 4 尊一切衆生悉有重擔。所謂五陰。若有能知
- 5 五陰。真実為壞陰。見棄捐重擔。而於諸法亦无²⁰⁰。
- 6 擔想名如法住。持世菩薩言世尊若行世間
- 7 非如法住。若正莊嚴名如法住。正莊嚴者。見
- 8 一切法等如虛空。堅意菩薩言世尊若有菩
- 9 薩不生於生。不滅於滅。亦²⁰¹。不見生滅之性。名
- 10 如法住。光明遍照高貴德王菩薩言若能知
- 11 見真実。涅槃見法是滅。及无²⁰²。生滅一切衆生
- 12 悉有仏性。為趣菩提。而脩²⁰³。莊嚴名如法住。无²⁰⁴。
- 13 礙光²⁰⁴。菩薩言世尊若有行処。即是魔業。非如
- 14 法住。若无²⁰⁵。行処。則壞魔業。若壞魔業。名如法

¹⁹⁰ 竟¹⁹⁰ 意【大】 大正蔵に校注なし。「竟」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「意」(朱書)あり。

- 191 无¹⁹¹ 无¹⁹¹【大】 大正蔵に校注なし。
- 192 无¹⁹² 无¹⁹²【大】 大正蔵に校注なし。
- 193 无¹⁹³ 无¹⁹³【大】 大正蔵に校注なし。
- 194 无¹⁹⁴ 无¹⁹⁴【大】 大正蔵に校注なし。
- 195 无¹⁹⁵ 无¹⁹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
- 196 无¹⁹⁶ 无¹⁹⁶【大】 大正蔵に校注なし。
- 197 无¹⁹⁷ 无¹⁹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
- 198 受¹⁹⁸ 取【大】
- 199 象¹⁹⁹ 像王【大】 大正蔵の校注の内容(像¹⁹⁹ 象¹⁹⁹)が正確ではない。
- 200 无²⁰⁰ 无²⁰⁰【大】 大正蔵に校注なし。
- 201 〔復〕+【大】 大正蔵に校注なし。
- 202 无²⁰² 无²⁰²【大】 大正蔵に校注なし。
- 203 脩²⁰³ 脩【大】 大正蔵に校注なし。
- 204 无²⁰⁴ 礙光²⁰⁴ 无²⁰⁴ 礙【大】 大正蔵に校注なし。
- 205 无²⁰⁵ 无²⁰⁵【大】 大正蔵に校注なし。

- 15 住精²⁰⁶進菩薩言世尊若作念言我当得法為
- 16 是得法勤行精進如是精進是空精進若能
- 17 觀察諸法不定以是不定勤脩²⁰⁷精進名如法
- 18 住過二惡道菩薩言世尊一切諸法无²⁰⁸作无²⁰⁹
- 19 变无²¹⁰覺无²¹¹觀无²¹²覺觀者名為正²¹³性若見衆生
- 20 心性本淨名如法住不可思惟²¹⁴菩薩言世
- 21 尊知諸衆生一切心性不作心想名不可思
- 22 惟而思惟也若能於是不思惟中而思
- 23 惟者名如法住樂寂靜菩薩言世尊若有菩
- 24 薩淨諸心界是則能離一切諸漏若能遠離

(第十五紙) T13p071a25~

- 1 一切諸²¹⁵漏者是名正行若正行者名如法住
- 2 覺²¹⁶主菩薩言世尊菩薩若有清淨善法福德
- 3 莊嚴智慧²¹⁷莊嚴觀二莊嚴平等无²¹⁸二以功德
- 4 等觀智慧等以智慧等觀功德等无²¹⁹差別者
- 5 名如法住維摩詰菩薩言世尊不觀於二名
- 6 如法住若於法界不壞不別名如法住依義
- 7 菩薩言世尊若有菩薩依於正義不依於字
- 8 為正義故受持誦誦說八万四千法聚无²²⁰
- 9 失无²²¹動名如法住淨意菩薩言世尊若有菩
- 10 薩發菩提心至心擁護是菩提心脩²²²菩提時
- 11 知諸法性夫法性者非処非非処名如法住
- 12 畢竟淨意菩薩言世尊若有菩薩遠離垢穢

- 206 精=淨【大】 大正藏に校注なし。
- 207 脩=修【大】 大正藏に校注なし。
- 208 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 209 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 210 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 211 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 212 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 213 正=心【大】 大正藏に校注なし。
- 214 【思惟】+【大】
- 215 【諸】-【大】
- 216 覺=商【大】
- 217 慧=惠【大】 大正藏に校注なし。
- 218 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 219 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 220 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 221 无=無【大】 大正藏に校注なし。
- 222 脩=修【大】 大正藏に校注なし。

- 13 如浣去垢能令煩惱不汚其心名畢竟淨其
- 14 心淨已隨菩提行名如法住海慧菩薩言世尊
- 15 若有親近惡知識者非如法住不脩²³³聖法非
- 16 如法住若近惡友則行魔業墮於魔處世
- 17 尊若有欲離一切²³⁴摩業諸行²³⁵魔處諸惡法者
- 18 当近善友佻言善男子汝今真知魔業行不
- 19 已知世尊善男子汝今当為²³⁵无量菩薩大衆
- 20 而說世尊夫魔業者即是眼色若人見色生
- 21 貪着心即是魔業乃至意法亦復如是復次
- 22 世尊菩薩²³⁷行檀波羅蜜時不愛之物持用
- 23 惠施所愛財貨貪²³⁸不捨愛者則施惠者不
- 24 与分別受者及以財物若有分別如是二者

(第十六紙) T13p071b20~

- 1 是名魔業復次世尊菩薩²³⁹行尸波羅蜜時
- 2 護持禁戒近持戒者讚歎己身毀訾破戒是
- 3 名魔業復次世尊菩薩²⁴⁰行忍辱²⁴¹波羅蜜時
- 4 於大力者能生忍辱於少力者不能生忍見
- 5 大力者²⁴²語謙下見小力者僂語輕蔑是名
- 6 魔業復次世尊菩薩²⁴³行精²⁴⁴進波羅蜜²⁴⁵說声
- 7 聞乘說緣覺乘說菩薩乘²⁴⁶菩提時輕慢声
- 8 聞辟支佻乘口不宜說樂於世行不樂供養
- 9 恭敬三宝所謂華香幡蓋伎樂尊重讚歎不
- 10 求多聞見多聞者不能親近是名魔業復次
- 11 世尊菩薩²⁴⁷行禪波羅蜜時獲得禪定不能

²²³ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。
²²⁴ 摩＝魔【大】 大正蔵に校注なし。「摩」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「魔」あり。
²²⁵ 行魔＝魔行【大】
²²⁶ 无＝無【大】 大正蔵に校注なし。
²²⁷ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。
²²⁸ 悋＝吝【大】 大正蔵に校注なし。
²²⁹ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。
²³⁰ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。
²³¹ [辱]－【大】 大正蔵に校注なし。
²³² 栗＝軟【大】 大正蔵に校注なし。
²³³ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。
²³⁴ [精]－【大】
²³⁵ [時]＋【大】 大正蔵に校注なし。
²³⁶ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。
²³⁷ 脩＝修【大】 大正蔵に校注なし。

- 12 調伏一切衆生心生悔厭貪着禪樂呵說法
- 13 者不樂講論讚歎寂靜貪着禪味呵毀二界
- 14 受²³⁸无²³⁹色身壽命極長不見諸仏不聞正法遠
- 15 離善友不知方便受捨脩²⁴⁰捨是名魔業復次
- 16 世尊菩薩脩²⁴¹行般若波羅蜜時知於因果不
- 17 以四撰撰取衆生而調伏之不知衆生上中
- 18 下根是名魔業復次世尊菩薩若樂空閑寂靜
- 19 樂寂靜已受寂靜樂不樂聽法說法問疑以
- 20 寂靜故煩惱不起以不起故不知知想不離
- 21 離想不證證想不脩²⁴²脩²⁴³想不得実義是名
- 22 魔業復次世尊菩薩若有脩²⁴⁴集多聞好語樂語
- 23 微妙之語奐²⁴⁵語喜語若為衣食臥具利養而
- 24 演說法若有信解能至心聽而不為說若有

(第十七紙) T13p071c15~

- 1 放逸致供養者便為說之可為說者而不為
- 2 說不可說者反為說之是名魔業復次世尊
- 3 若有菩薩說法之時秘藏深義有諸人天²⁴⁶
- 4 得他心智知已不悅即作是念我為如來
- 5 真正法來不為世間淺近語來是人欲毀
- 6 如來正法不能增長若人有毀²⁴⁷仏正法者我不
- 7 樂見聞其所說即便捨去是名魔業復次
- 8 世尊若有菩薩於惡知識作善友想惡知識
- 9 者不以四撰撰取衆生不脩²⁴⁸多聞不化衆生
- 10 不說出法樂說世語不知法不知時不知義
- 11 是名魔業復次世尊惡知識者不能開示分
- 12 別解說声聞縁覺菩薩仏法不化衆生令脩²⁴⁹

238 受=愛【大】

239 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

240 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

241 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

242 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

243 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

244 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

245 奐=軟【大】 大正蔵に校注なし。

246 人天=天人【大】

247 「毀？」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「毀」(朱書)あり。

248 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

249 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 慈悲遠離八難脩²⁵⁰ 行施戒柔²⁵¹ 語言親近平
 14 等教忍²⁵² 力說言²⁵³ 仏道甚為難得²⁵⁴ 無²⁵⁵ 量世中
 15 勤苦乃獲是名惡友名為魔業復次世尊菩
 16 薩若有憍慢之心以憍慢故不能增長²⁵⁶ 供養
 17 仏法衆僧師長和父母長宿同学同師若
 18 見勝己不能親近聽法問疑是故雖聞聞已
 19 便失見下己者親近愛念是故惡法漸漸增
 20 長惡法增故遠離善法世尊譬如大海漸漸
 21 深故一切諸法²⁵⁷ 悉共歸之菩薩壞慢亦復如
 22 是漸漸增長一切善法菩薩若不壞憍慢者
 23 是名魔業世尊譬如有人高原陸地種瞻波
 24 樹水常行処復作堤²⁵⁸ 塘地既高燥又不得水

(第十八紙) T13p072a10~

- 1 漸漸枯黃不能增長世尊菩薩摩訶薩亦復
 2 如是憍慢增故不親善友不聞正法雖聞復
 3 失復次世尊菩薩摩訶²⁵⁹ 身色具足端正自在
 4 多有眷屬福德莊嚴未能具足智慧莊嚴以
 5 是因緣故²⁶⁰ 生於憍慢²⁶¹ 若有菩薩具智莊嚴思
 6 惟正法身体羸瘦²⁶² 見已輕慢不能供養以是
 7 因緣復增憍慢²⁶³ 明放逸不調魔業如是菩
 8 薩為色生慢是名魔業爾時世尊告海慧菩
 9 薩言善哉善哉善男子善能分別演²⁶⁴ 說魔業
 10 善男子至心諦聽吾今當說壞魔業道善男
 11 子一切諸法其性空寂若知諸法其性空已

²⁵⁰ 脩=修【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵¹ 粟=軟【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵² 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵³ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁴ 【增長】 - 【大】

²⁵⁵ 法=流【大】 大正蔵に校注なし。「法」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「流」(朱書)あり。

²⁵⁶ 堤=坻【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁷ 【薩】+【大】 大正蔵に校注なし。「訶」の右下に「薩」(朱書)あり。

²⁵⁸ 【故】-【大】 大正蔵に校注なし。

²⁵⁹ 【以憍慢故】+【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶⁰ 瘦=瘠【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶¹ 无=無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁶² 演=宣【大】 大正蔵に校注なし。

- 12 亦知一切衆生皆空既知空已而脩²⁶³慈心調
- 13 伏自身是名菩薩破壞魔業若觀諸法性是
- 14 无²⁶⁴相而為衆生脩²⁶⁵集慈心是名菩薩破壞魔
- 15 業若觀諸法性是无²⁶⁶願為諸衆生²⁶⁷心求有
- 16 既求有已隨而調伏是名菩薩能壞魔業觀
- 17 一切法性是无²⁶⁸貪衆生之性亦復无²⁶⁹貪為調
- 18 伏貪而撰取之是名菩薩能壞魔業若觀諸
- 19 法性是无²⁷⁰悲衆生之性亦復无²⁷¹悲為調伏悲
- 20 而撰取之是名菩薩能壞魔業若觀諸法性
- 21 是无²⁷²癡衆生之性亦復无²⁷³癡為調伏癡而撰
- 22 取之是名菩薩能壞魔業觀諸法性无²⁷⁴生无²⁷⁵滅
- 23 壞生滅故宣說正法是名菩薩能壞魔業觀
- 24 一切法性是名²⁷⁶平等雖說三乘不捨大乘是

(第十九紙) T13p072b05~

- 1 名菩薩能壞魔業若不貪着心意識等亦能
- 2 遠離一切因緣為諸衆生得解脫故脩²⁷⁷法莊
- 3 嚴雖過諸行終不捨離菩薩所行是名菩薩
- 4 能壞魔業說是法時天魔波旬莊嚴四兵來
- 5 趣宝坊如先趣向菩提樹時如來見已告海
- 6 慧菩薩²⁷⁸言汝說魔業我說壞魔以是因緣魔
- 7 王波旬莊嚴四兵而來至此欲設何計以当
- 8 御²⁷⁹之海慧菩薩言世尊我今欲持魔王波旬
- 9 及其眷屬置莊嚴国我身当住魔所住处爾

263 脩＝修【大】 大正藏に校注なし。
 264 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 265 脩＝修【大】 大正藏に校注なし。
 266 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 267 生＝至【大】 大正藏に校注なし。
 268 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 269 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 270 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 271 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 272 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 273 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 274 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 275 无＝無【大】 大正藏に校注なし。
 276 〔名〕－【大】 大正藏に校注なし。
 277 脩＝修【大】 大正藏に校注なし。
 278 〔菩薩〕－【大】
 279 御＝禦【大】

- 10 時舍利弗言善男子莊嚴世界去此遠近
 11 号何等舍利弗在此東方過於十二恒河沙
 12 等世界其土有仏号破疑淨光今現在世為
 13 諸菩薩説淨菩薩行彼国三千大千世界有
 14 一億魔一魔王有十千億人兵眷属其仏
 15 初坐菩提樹時如是諸魔悉共莊嚴至菩薩
 16 所爾時菩薩先為諸魔講宣正典令其得住
 17 不退轉地然後乃成阿耨多羅三藐三菩提
 18 轉正法輪彼仏世尊其大弟子及侍使者亦
 19 悉是魔如是等魔悉能教化調伏衆生是故
 20 我今取魔波旬安置彼土為欲壞其所行魔
 21 業莊嚴如來²⁸⁵上正法時魔波旬聞是語已
 22 心生恐怖四望顧視欲求退処四方障礙不
 23 得從意復欲滅身亦不能得方計不立²⁸⁷位²⁸⁷復
 24 生²⁸⁸惱²⁸⁸白仏言世尊唯願大悲²⁸⁹少見救護仏言

(第十一紙) T13p072c01~

- 1 波旬我於此事不得自在汝当帰向海慧菩
 2 薩求哀懺悔時魔波旬即向海慧合掌而言
 3 善男子我從今日不敢復作如是魔業唯願
 4 仁者聽我懺悔海慧菩薩言我於汝所都²⁸⁴无²⁸⁴
 5 瞋心菩薩之法常応忍辱一切衆生波旬汝
 6 ²⁸⁵今²⁸⁵可往²⁸⁶礼覲彼仏汝身当得²⁸⁷无²⁸⁷量²⁸⁷无边²⁸⁸利益²⁸⁸
 7 爾時菩薩即以右手摩其頂上作如是言若
 8 諸菩薩於諸法中²⁸⁹无²⁸⁹貪悋者以我神通令汝
 9 必至彼仏世界言已波旬即至彼土既至彼
 10 土見仏敬礼却住一面彼諸菩薩白仏言世
 11 尊何等国土有如是等不淨之人而来至此仏
 12 言善男子西方過十二恒河沙等諸仏世界

²⁸⁰无²⁸⁰||²⁸⁰无²⁸⁰【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸¹位²⁸¹||²⁸¹倍²⁸¹【大】 大正蔵に校注なし。「位」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「倍」あり。

²⁸²惱²⁸²||²⁸²憍²⁸²【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸³悲²⁸³||²⁸³慈²⁸³【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸⁴无²⁸⁴||²⁸⁴无²⁸⁴【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸⁵〔今〕-²⁸⁵【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸⁶〔彼〕+²⁸⁶【大】

²⁸⁷无²⁸⁷||²⁸⁷无²⁸⁷【大】 大正蔵に校注なし。

²⁸⁸〔无边〕-²⁸⁸【大】

²⁸⁹无²⁸⁹||²⁸⁹无²⁸⁹【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 彼有世界名曰娑婆仏号积迦牟尼為過數
- 14 量諸菩薩等說大集經彼有菩薩名曰海慧
- 15 說魔業時是魔莊嚴四種兵衆來至会所海
- 16 慧菩薩以神通力移來至此彼世界中諸菩
- 17 薩等語波旬言善男子汝今宜發阿耨多
- 18 羅三藐三菩提心遠離魔業我当与汝共為
- 19 同学時魔波旬聞是語已即發阿耨多羅三
- 20 藐三菩提心時諸菩薩即請波旬昇師子座
- 21 問波旬言承彼如來為諸大衆說大集經斯
- 22 有何事唯²⁹⁰仁說之時魔波旬以海慧菩薩神
- 23 通力故宣說所聞乃至不失一句一字彼諸
- 24 菩薩即白仏言我等願樂欲見彼²⁹¹积迦牟尼

(第十一紙) T13p072c25~

- 1 及衆菩薩彼仏即告諸菩薩言且待須臾自
- 2 当得見此宝坊中諸菩薩等復白仏言世尊
- 3 我等欲見魔王波旬於彼世界為何所作爾
- 4 時世尊觀此彼界衆生心已告海慧菩薩言
- 5 善男子汝今当以此仏世界示彼菩薩爾時
- 6 海慧菩薩即於十指放大光明其光即過十
- 7 二恒河沙等諸仏世界遍照彼土此間大衆
- 8 悉見彼土仏及菩薩魔王波旬処師子座說
- 9 大集經時諸菩薩即從座起向彼如來頭面
- 10 敬礼散種種華而以供養所散諸華当彼仏
- 11 上變成華台彼諸菩薩見²⁹²華台時²⁹³即白仏言
- 12 世尊如是華台從何処來仏言善男子娑婆
- 13 世界諸菩薩衆所散供養諸菩薩言世尊云
- 14 何令我得見彼土娑婆世界仏言善男子汝
- 15 等今当敬礼是光至心念持自当得見彼仏
- 16 世界時彼菩薩如仏所言敬礼光明至心念
- 17 持即得見此娑婆世界見已²⁹⁴而起礼积迦牟
- 18 尼仏以諸香華遥供養之又見三千大千世

²⁹⁰ 唯=惟【大】 大正藏に校注なし。

²⁹¹ (仏) + 【大】 大正藏に校注なし。

²⁹² (是) + 【大】 大正藏に校注なし。

²⁹³ (時) - 【大】

²⁹⁴ 而=即【大】 大正藏に校注なし。

- 19 界淨水澄滿猶如大海彼所散華至此世界
- 20 大宝坊中当如来上變成宝蓋時魔波旬白
- 21 彼仏言世尊我当云何還彼世界仏言善男
- 22 子若欲還者应当至心念於海慧時魔波旬
- 23 至心念於海慧菩薩念已即得還此世界時
- 24 舍利弗見魔波旬即作是言²⁹⁵汝得見彼仏世

(第十一紙) T13p073a20~

- 1 界不波旬答²⁹⁶舍利弗我已見之及見彼土清
- 2 淨菩薩所住之處舍利弗言汝於彼土作魔
- 3 業不大德我至彼土至心勤求无²⁹⁷上菩提何
- 4 縁²⁹⁸造作魔業若有至心求菩提時見魔業者
- 5 是人則得勤脩²⁹⁹精進此界大衆見魔波旬還
- 6 來至此六万衆生十千魔衆同共發阿耨多
- 7 羅三藐三菩提心作如³⁰⁰是願³⁰¹願我等輩所受
- 8 身形如彼菩薩身形无³⁰²異海慧菩薩言世尊
- 9 為阿耨多羅三藐三菩提多有怨敵善哉世
- 10 尊為護法故建立神通以神³⁰³通力故是經当
- 11 得久住於世仏言善男子我今所立善願神
- 12 通為諸衆生種於善根
- 13 爾時世尊告四天王汝等当知若我弟子比
- 14 丘比丘尼優婆塞優婆夷受持誦誦書写広
- 15 説如是等經汝等四天³⁰⁴当深護助无³⁰⁵為欲樂
- 16 而作放逸吾今出世為壞放逸護正法故而
- 17 説呪曰所謂

²⁹⁵ [波旬] + 【大】 大正蔵に校注なし。

²⁹⁶ 答||言【大】

²⁹⁷ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

²⁹⁸ [復得] + 【大】

²⁹⁹ 脩||修【大】 大正蔵に校注なし。

³⁰⁰ [如] - 【大】

³⁰¹ 願||言【大】 大正蔵に校注なし。

³⁰² 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

³⁰³ [神] - 【大】

³⁰⁴ 天||王【大】 大正蔵に校注なし。

³⁰⁵ 无||無【大】 大正蔵に校注なし。

18 娑³⁰⁶咩³⁰⁷ 娑³⁰⁹摩娑³¹⁰ 咩³¹¹ 摩³¹² 娑³¹³ 娑³¹⁴ 娑³¹⁵ 娑³¹⁶ 娑³¹⁷ 娑³¹⁸ 娑³¹⁹ 娑³²⁰ 娑³²¹ 娑³²² 娑³²³ 娑³²⁴ 娑³²⁵ 娑³²⁶ 娑³²⁷ 娑³²⁸ 娑³²⁹ 娑³³⁰ 娑³³¹ 娑³³² 娑³³³ 娑³³⁴ 娑³³⁵ 娑³³⁶ 娑³³⁷ 娑³³⁸ 娑³³⁹ 娑³⁴⁰ 娑³⁴¹ 娑³⁴² 娑³⁴³ 娑³⁴⁴ 娑³⁴⁵
19 娑³¹⁸ 娑³¹⁹ 陀那娑³²⁰ 坻³²¹ 嚩³²² 弥陀那娑³²³ 坻³²⁴ 阿那³²⁵ 散
20 提³²⁶ 阿摩³²⁷ 嚩³²⁸ 毘摩³²⁹ 隸³³⁰ 闍³³¹ 比³³² 嚩³³³ 提³³⁴ 迦羅³³⁵ 提³³⁶
21 迦羅³³³ 那³³⁴ 阿³³⁵ 隸³³⁶ 阿³³⁷ 羅³³⁸ 娑³³⁹ 坻³⁴⁰ 阿³⁴¹ 隸³⁴² 娑³⁴³
22 散提³⁴⁴ 涅伽³⁴⁵ 多³⁴⁶ 湏³⁴⁷ 阿³⁴⁸ 跋³⁴⁹ 坻³⁵⁰ 阿³⁵¹ 隸³⁵² 娑³⁵³ 提³⁵⁴ 摩³⁵⁵

- 306 娑^三【大】 大正蔵の校注には「三^二娑^一」とある。
307 [羊鳴音]+【大】 大正蔵に校注なし。
308 [一]—【大】 大正蔵に校注なし。
309 娑^二【大】 「娑」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「娑」（朱書）あり。
310 娑^二【大】
311 [一]—【大】 大正蔵に校注なし。
312 摩^嚩沫頓【大】 「嚩」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「嚩」（朱書）あり。
313 湏^禰禰【大】 大正蔵の校注には「禰^二湏^一」とある。
314 [三]—【大】 大正蔵に校注なし。
315 嚩^羅【大】 大正蔵の校注には「羅^二嚩^一」とある。
316 娑^跋【大】 大正蔵の校注には「跋^二娑^一」とある。
317 [四]—【大】 大正蔵に校注なし。
318 湏^禰【大】
319 [五]—【大】 大正蔵に校注なし。
320 娑^跋【大】
321 [六]—【大】 大正蔵に校注なし。
322 嚩^投【大】 「嚩」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「嚩」（朱書）あり。
323 娑^跋【大】
324 [七]—【大】 大正蔵に校注なし。
325 那^娑【大】
326 [八]—【大】 大正蔵に校注なし。
327 嚩^隸【大】 大正蔵の校注には「隸^二嚩^一」とある。
328 [九]—【大】 大正蔵に校注なし。
329 [十]—【大】 大正蔵に校注なし。
330 比^毘【大】 大正蔵の校注には「毘^二比^一」とある。
331 嚩^羅【大】
332 [十一]—【大】 大正蔵に校注なし。
333 [十二]—【大】 大正蔵に校注なし。
334 [十三]—【大】 大正蔵に校注なし。
335 隸^梨【大】
336 [十四]—【大】 大正蔵に校注なし。
337 娑^跋【大】
338 [十五]—【大】 大正蔵に校注なし。
339 [十六]—【大】 大正蔵に校注なし。
340 多^旦【大】 大正蔵に校注なし。
341 湏^尼【大】 大正蔵の校注には「尼^二湏^一」とある。
342 [十七]—【大】 大正蔵に校注なし。
343 [十八]—【大】 大正蔵に校注なし。
344 摩^沫【大】
345 [十九]—【大】 大正蔵に校注なし。

23 呼摩³⁴⁶ 提³⁴⁷ 摩囉³⁴⁸ 夷提³⁴⁹ 毘守³⁵⁰ 提³⁵¹ 毘守³⁵² 提³⁵³
 吠³⁵³ 坻³⁵⁴ 尼婆³⁵⁵ 囉³⁵⁶ 暮呵³⁵⁸ 泥³⁵⁹

(第二十二紙) T13p073b15~

- 1 善男子是名四天王呪若有法師受持是經
- 2 当誦是呪誦已脩³⁶⁰ 慈縁念十方至心念於四
- 3 天王等爾時四天³⁶¹ 王当示其夢或自往護時
- 4 四天王即³⁶² 白仏言世尊我等四王聞是呪已
- 5 即与眷属至法師所擁護侍衛若是法師所
- 6 須資生我当方便令其得之遠離病苦身受
- 7 安樂爾時世尊告海慧菩薩善男子汝今至
- 8 心聴帝釈呪所謂
- 9 闍移³⁶³ 闍移³⁶⁵ 摩提³⁶⁷ 阿跋坻³⁶⁹ 毘跋坻³⁷¹ 摩拘³⁷²

346 摩³⁴⁶ 沫³⁴⁷ 【大】 大正蔵には「*沫」とあるが、「*」の元となる場所が不明。
 347 【升】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 348 囉³⁴⁸ 羅³⁴⁹ 【大】
 349 【升一】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 350 守³⁵⁰ 首³⁵¹ 【大】 大正蔵の校注には「首³⁵⁰ 守³⁵¹」とある。
 351 【升二】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 352 守³⁵² 首³⁵³ 【大】
 353 吠³⁵³ 跋³⁵⁴ 【大】
 354 【升三】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 355 婆³⁵⁵ 薩³⁵⁶ 【大】
 356 囉³⁵⁶ 隸³⁵⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。
 357 【升四】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 358 暮³⁵⁸ 呵³⁵⁹ 莫³⁶⁰ 罕³⁶¹ 【大】
 359 【升五】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 360 脩³⁶⁰ 修³⁶¹ 【大】 大正蔵に校注なし。
 361 【天】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 362 【即】 - 【大】
 363 移³⁶³ 耶³⁶⁴ 【大】 大正蔵の校注には「耶³⁶³ 移³⁶⁴」とある。
 364 【一】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 365 移³⁶⁵ 耶³⁶⁶ 【大】
 366 摩³⁶⁶ 末³⁶⁷ 【大】 大正蔵の校注には「末³⁶⁶ 摩³⁶⁷」とある。
 367 提³⁶⁷ 坻³⁶⁸ 【大】 大正蔵に校注なし。
 368 【一】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 369 SAT2015の注26は、注を付す位置を間違えている。
 370 【三】 - 【大】 大正蔵に校注なし。
 371 【毘】 - 【大】
 372 【四】 - 【大】 大正蔵に校注なし。

- 10 囉³⁷³五³⁷⁴ 斯陀(破+女)³⁷⁵提³⁷⁶六³⁷⁷輪³⁷⁸泥³⁷⁹ (口+扇) 坻迦囉³⁸⁰八³⁸¹ 陀遮陀³⁸²
- 11 摩泥³⁸²九³⁸³ 多迦囉³⁸⁴十³⁸⁵ 又蛇目咍³⁸⁶十一³⁸⁷ 阿跋多³⁸⁸那³⁸⁹十二³⁸⁹ 涅伽³⁹⁰
- 12 多³⁹⁰那³⁹¹十三³⁹¹ 娑婆私提³⁹²十四³⁹³ 娑(破+女)³⁹⁴私提散提³⁹⁵十五³⁹⁶
- 13 来僑尸迦阿脩³⁹⁷ 羅壞諸天則勝諸天勝故仏
- 14 法增長僑尸迦欲受安樂當護正法善男子
- 15 是名釈呪善男子若有法師欲說法時当先
- 16 洗浴令身淨潔持妙香華正東而礼一心憶
- 17 念十方諸仏慈心普及一切衆生然後乃昇
- 18 師子法座誦如是呪而作是言僑尸迦如³⁹⁸来
- 19 四天王来為諸大衆除却障礙消滅煩惱爾
- 20 時帝釈及四天王念法師故即便共来是故諸³⁹⁹
- 21 大衆樂聞說法善男子汝今復能⁴⁰⁰聽十方諸
- 22 魔及眷属呪所謂

- 373 囉³⁷³隸【大】
- 374 【五】一【大】 大正藏に校注なし。
- 375 (破+女) 隸【大】 「(破+女)」は「婆」の異体字か。
- 376 提³⁷⁶隸【大】 大正藏に校注なし。
- 377 【六】一【大】 大正藏に校注なし。
- 378 輪³⁷⁸隸【大】 大正藏に校注なし。「輪」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「輪」(朱書)あり。
- 379 【七】一【大】 大正藏に校注なし。
- 380 (口+扇) 坻迦囉³⁸⁰隸【大】
- 381 【八】一【大】 大正藏に校注なし。
- 382 陀遮陀摩泥³⁸²隸提曇摩尼【大】 大正藏の校注の内容(檀提曇摩尼³⁸²隸陀遮陀摩泥³⁸²(聖))が正確ではなし。
- 383 【九】一【大】 大正藏に校注なし。
- 384 囉³⁸⁴隸【大】
- 385 【十】一【大】 大正藏に校注なし。
- 386 又蛇目咍³⁸⁶隸又耶又耶目佉【大】
- 387 【十一】一【大】 大正藏に校注なし。
- 388 多³⁸⁸隸【大】 大正藏に校注なし。
- 389 【十二】一【大】 大正藏に校注なし。
- 390 多³⁹⁰隸【大】 大正藏の校注には「多³⁹⁰隸³⁹⁰」とある。
- 391 【十三】一【大】 大正藏に校注なし。
- 392 娑婆私提³⁹²隸沙坻【大】
- 393 【十四】一【大】 大正藏に校注なし。
- 394 (破+女) 隸【大】 「(破+女)」は「婆」の異体字か。
- 395 娑(破+女)私提散提³⁹⁵隸沙坻散提【大】
- 396 【十五】一【大】 大正藏に校注なし。
- 397 脩³⁹⁷隸【大】 大正藏に校注なし。
- 398 (如)一【大】 大正藏に校注なし。
- 399 (諸)一【大】 大正藏に校注なし。
- 400 (能)一【大】 大正藏に校注なし。

23 奢咩¹⁴⁰¹ 奢摩(破十女)⁴⁰² 坻¹⁴⁰³ 奢摩蜜⁴⁰⁴ 提⁴⁰⁵ 呵呼⁴⁰⁷ 囉⁴⁰⁸ 摩⁴⁰⁹
24 囉⁴¹⁰ 休⁴¹¹ 坻⁴¹² 曾仇⁴¹³ 囉⁴¹⁴ (破十女)⁴¹⁵ 囉⁴¹⁶ 締⁴¹⁷ 迦⁴¹⁸ 迦猶囉⁴¹⁹ 坻⁴²⁰ 提⁴²¹

(第二十四紙) T13p073c10~

1 闍⁴²² 跋提⁴²³ 阿路⁴²⁴ 迦尼⁴²⁵ 比奢⁴²⁷ 茶尼⁴²⁸ 涅⁴²⁹ 摩⁴³⁰ 提⁴³¹
2 阿(破十女)⁴³² 脚⁴³³ 丘丘⁴³⁴ 囉⁴³⁵ 迦⁴³⁷ 羅娑⁴³⁸ 尼⁴³⁹ 憂茂咩⁴⁴⁰

- 401 (一)一【大】 大正蔵に校注なし。
402 (破十女) 〓跋【大】 大正蔵の校注には「跋〓 (破十女) 〈聖〉 *」とある。
403 (二)一【大】 大正蔵に校注なし。
404 蜜〓密【大】
405 提〓帶【大】
406 (三)一【大】 大正蔵に校注なし。
407 呵呼〓阿浮【大】
408 囉〓隸【大】
409 (四)一【大】 大正蔵に校注なし。
410 囉〓羅【大】
411 休〓歛【大】
412 (五)一【大】 大正蔵に校注なし。
413 曾仇〓曹崛【大】
414 囉〓隸【大】
415 (六)一【大】 大正蔵に校注なし。
416 (破十女) 〓婆【大】 大正蔵には「*婆」とあるが、「*」の元となる場所が不明。
417 囉〓羅【大】
418 (七)一【大】 大正蔵に校注なし。
419 猶囉〓由犁【大】
420 (八)一【大】 大正蔵に校注なし。
421 坻〓坻【大】 大正蔵の校注の内容(坻〓提〈聖〉*)が正確ではない。
422 闍〓祁【大】
423 提〓坻【大】
424 (九)一【大】 大正蔵に校注なし。
425 路〓慮【大】
426 (十)一【大】 大正蔵に校注なし。
427 奢〓舍【大】 大正蔵に校注なし。
428 (十一)一【大】 大正蔵に校注なし。
429 涅〓尼【大】
430 摩〓末【大】
431 提〓坻【大】
432 (十二)一【大】 大正蔵に校注なし。
433 (破十女) 〓跋【大】 大正蔵の校注には「跋〓 (破十女) 〈聖〉 *」とある。
434 脚〓持【大】
435 (十三)一【大】 大正蔵に校注なし。
436 丘丘〓區區【大】
437 囉〓隸【大】
438 (十四)一【大】 大正蔵に校注なし。
439 迦〓伽【大】 大正蔵に校注なし。
440 娑〓薩【大】 SAT2015の注5の内容(薩〓娑〈聖〉)が正確ではない。
441 (十五)一【大】 大正蔵に校注なし。
442 茂咩〓目企【大】

- 3 唵⁴⁴³ 奢⁴⁴⁵ 坻⁴⁴⁶ (岐十女)⁴⁴⁷ 囉⁴⁴⁸ 目唵⁴⁴⁹ 十八⁴⁵⁰ 槃陀⁴⁵¹ 那涅伽
- 4 醯⁴⁵² 坻⁴⁵³ 奢摩⁴⁵⁴ 升⁴⁵⁵
- 5 如是呪者力能繫縛一切論師一切摩⁴⁵⁶ 衆是
- 6 名仏印不可破壞魔眷屬怨善男子若有
- 7 法師受持誦誦如是等呪昇師子座專念諸
- 8 仏慈及衆生自於己身生醫師想於所說法生
- 9 良菓想於聽法者生病⁴⁵⁷ 苦想於如來所生善
- 10 友想於正法中生常恒想若能如是説正法
- 11 時其処四辺各一由旬魔不能到時魔波旬
- 12 白仏言世尊若仏弟子有能誦誦如是神呪
- 13 其身清淨我当擁護不作魔業我以海慧神
- 14 通力故捨於魔業随有国土城邑村落説是
- 15 法処我当化身親往聽受仏言善哉善哉波
- 16 旬汝若能得如是心者則壞魔業亦当獲得
- 17 如是等法善男子復当至心聽梵天呪所謂
- 18 迷羅⁴⁵⁸ 伽囉⁴⁵⁹ 迦留拏⁴⁶¹ 伽囉⁴⁶² 暮⁴⁶⁴ 經多迦⁴⁶⁵ 囉⁴⁶⁶ 憂⁴⁶⁷

- 443 唵⁴⁴³ 企⁴⁴⁴ 【大】 大正蔵に校注なし。
- 444 〔十六〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 445 茂⁴⁴⁵ 蜜⁴⁴⁶ 【大】
- 446 〔十七〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 447 (岐十女) 〓波⁴⁴⁷ 【大】
- 448 囉⁴⁴⁸ 羅⁴⁴⁹ 【大】
- 449 唵⁴⁴⁹ 企⁴⁵⁰ 【大】
- 450 〔十八〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 451 陀⁴⁵¹ 檀⁴⁵² 【大】
- 452 醯⁴⁵² 熙⁴⁵³ 【大】 「醯？」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「醯」(朱書)あり。
- 453 〔十九〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 454 〔纏〕+【大】
- 455 〔升〕一【大】 大正蔵に校注なし。「升？」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「升」(朱書)あり。
- 456 摩⁴⁵⁶ 〓魔⁴⁵⁷ 【大】 大正蔵に校注なし。「摩」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「魔」(朱書)あり。
- 457 病⁴⁵⁷ 〓疾⁴⁵⁸ 【大】
- 458 羅⁴⁵⁸ 〓多⁴⁵⁹ 【大】
- 459 囉⁴⁵⁹ 〓隸⁴⁶⁰ 【大】
- 460 〔一〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 461 留拏⁴⁶¹ 〓楼那⁴⁶² 【大】
- 462 囉⁴⁶² 〓隸⁴⁶³ 【大】
- 463 〔二〕一【大】 大正蔵に校注なし。
- 464 暮⁴⁶⁴ 〓無⁴⁶⁵ 【大】
- 465 迦⁴⁶⁵ 〓伽⁴⁶⁶ 【大】
- 466 囉⁴⁶⁶ 〓隸⁴⁶⁷ 【大】
- 467 〔三〕一【大】 大正蔵に校注なし。

19 卑⁴⁸⁸又伽⁴⁶⁹離⁴⁷⁰ 仏陀伽⁴⁷¹離⁴⁷² 檀⁴⁷³摩⁴⁷⁴迦⁴⁷⁵離⁴⁷⁶ 僧伽⁴⁷⁷迦⁴⁷⁸
 離⁴⁷⁸七⁴⁷⁹ 脩⁴⁸⁰竭⁴⁸¹多⁴⁸²毘⁴⁸³闍⁴⁸⁴移⁴⁸⁵ 摩⁴⁸⁶呵⁴⁸⁷比⁴⁸⁸檀⁴⁸⁹尼⁴⁹⁰ 比⁴⁹¹守⁴⁹²提⁴⁹³目⁴⁹⁴
 20 唵⁴⁹⁵十⁴⁹⁶ 尼波⁴⁹⁷離⁴⁹⁸ 陀⁴⁹⁹移⁵⁰⁰ 烏闍⁵⁰¹跋⁵⁰²帝⁵⁰³ 十二⁵⁰⁴ 烏闍⁵⁰⁵蔽⁵⁰⁶咩⁵⁰⁷
 21 三⁴⁹⁷ 捺⁴⁹⁸陀⁴⁹⁹ 尼⁵⁰⁰十⁵⁰¹ 檀⁵⁰²摩⁵⁰³波⁵⁰⁴提⁵⁰⁵ 吒⁵⁰⁶婆⁵⁰⁷ 尼⁵⁰⁸十⁵⁰⁹ 薩⁵¹⁰遮⁵¹¹極⁵¹² 郁⁵¹³
 22 三⁴⁹⁷ 捺⁴⁹⁸陀⁴⁹⁹ 尼⁵⁰⁰十⁵⁰¹ 檀⁵⁰²摩⁵⁰³波⁵⁰⁴提⁵⁰⁵ 吒⁵⁰⁶婆⁵⁰⁷ 尼⁵⁰⁸十⁵⁰⁹ 薩⁵¹⁰遮⁵¹¹極⁵¹² 郁⁵¹³

488 卑⁴⁸⁸比⁴⁸⁹【大】
 489 離⁴⁸⁹隸⁴⁹⁰【大】
 490 〔四〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 491 離⁴⁹¹隸⁴⁹²【大】 大正蔵に校注なし。
 492 〔五〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 493 檀⁴⁹³曇⁴⁹⁴【大】 大正蔵の校注には「曇⁴⁹⁵檀⁴⁹⁶〔聖〕⁴⁹⁷」とある。
 494 迦⁴⁹⁴伽⁴⁹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 495 離⁴⁹⁵隸⁴⁹⁶【大】 大正蔵に校注なし。
 496 〔六〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 497 迦⁴⁹⁷伽⁴⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 498 離⁴⁹⁸隸⁴⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 499 〔七〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 500 脩⁵⁰⁰蘇⁵⁰¹【大】 大正蔵に校注なし。
 501 竭⁵⁰¹羯⁵⁰²【大】 大正蔵に校注なし。
 502 移⁵⁰²耶⁵⁰³【大】 大正蔵に校注なし。
 503 〔八〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 504 呵⁵⁰⁴訶⁵⁰⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 505 比⁵⁰⁵毘⁵⁰⁶【大】 大正蔵に校注なし。
 486 〔九〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 487 比⁴⁸⁷毘⁴⁸⁸【大】
 488 守⁴⁸⁸獸⁴⁸⁹【大】
 489 唵⁴⁸⁹爾⁴⁹⁰【大】 大正蔵に校注なし。
 490 〔十〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 491 離⁴⁹¹隸⁴⁹²【大】 大正蔵に校注なし。
 492 移⁴⁹²耶⁴⁹³【大】 大正蔵に校注なし。
 493 〔十一〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 494 帝⁴⁹⁴毘⁴⁹⁵【大】 大正蔵に校注なし。
 495 〔十二〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 496 咩⁴⁹⁶彌⁴⁹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 497 〔十三〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 498 陀⁴⁹⁸檀⁴⁹⁹【大】 大正蔵には「*檀」とあるが、「*」の元となる場所が不明。
 499 〔十四〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 500 檀⁵⁰⁰曇⁵⁰¹【大】
 501 提⁵⁰¹毘⁵⁰²【大】
 502 婆⁵⁰²跋⁵⁰³【大】
 503 〔十五〕一【大】 大正蔵に校注なし。
 504 極⁵⁰⁴毘⁵⁰⁵【大】 大正蔵に校注なし。「極」の中央に見せ消ち（朱点）あり、右傍に「毘」（朱書）あり。
 505 郁⁵⁰⁵隸⁵⁰⁶【大】

23 波(跛+女) ⁵⁰⁶極 ⁵⁰⁷十六 ⁵⁰⁸比 ⁵⁰⁹守 ⁵¹⁰極 ⁵¹¹十七 ⁵¹²娑(跛+女) ⁵¹³多 ⁵¹⁴憂 ⁵¹⁵波 ⁵¹⁶奢 ⁵¹⁷弥 ⁵¹⁸鳥

24 盧迦蛇(跛+女) ⁵¹⁷摩 ⁵¹⁹十九 ⁵¹⁸毘盧迦蛇娑 ⁵¹⁹摩 ⁵²⁰娑

(第二十五紙) T13p074a10~

- 1 若欲具足受持如是梵天呪者常⁵²¹行梵行清
- 2 淨持戒誦誦是呪請名⁵²³梵天梵天汝來擁護
- 3 如是大衆令其至心樂聽正法念於三宝轉
- 4 正法輪護持法城若有法師能調諸根至心
- 5 淨護身口意等勤脩⁵²³戒忍精進多聞發菩提
- 6 心脩⁵²⁴四无⁵²⁵量昇於法座誦如是呪誦是呪已
- 7 梵天王等与諸眷属悉来集会是講法所爾
- 8 時梵王白仏言世尊若有法師誦誦是呪我
- 9 在初禪聞是呪已当捨定樂而往其所当施
- 10 八法何等為八一者施念持所聞故二者施
- 11 慧思惟深法故三者施解分別深義故四者
- 12 説⁵²⁶樂説无⁵²⁷礙為壞疑心故五者施辯⁵²⁸无⁵²⁹礙為

- 506 (跛+女) 〓跛【大】 大正蔵に校注なし。
- 507 極〓坻【大】 大正蔵の校注には「坻〓極〈聖 *〉とある。
- 508 「十六」一【大】 大正蔵に校注なし。
- 509 比〓毘【大】
- 510 守〓獸【大】 大正蔵には「*獸」とあるが、「*」の元となる場所が不明。
- 511 極〓坻【大】
- 512 「十七」一【大】 大正蔵に校注なし。
- 513 娑(跛+女) 〓莎折【大】
- 514 憂〓優【大】
- 515 奢〓舍【大】
- 516 「十八」一【大】 大正蔵に校注なし。
- 517 蛇(跛+女) 〓耶梵【大】 大正蔵の校注には「耶梵〓陀娑〈聖 *〉とある。
- 518 「十九」一【大】 大正蔵に校注なし。
- 519 蛇娑〓耶梵【大】
- 520 「卅」一【大】 大正蔵に校注なし。
- 521 常〓当【大】 大正蔵に校注なし。
- 522 名〓召【大】 大正蔵に校注なし。「名」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「召」(朱書)あり。
- 523 脩〓修【大】 大正蔵に校注なし。
- 524 脩〓修【大】 大正蔵に校注なし。
- 525 无〓無【大】 大正蔵に校注なし。
- 526 説〓施【大】 大正蔵に校注なし。「説」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「施」(朱書)あり。
- 527 无〓無【大】 大正蔵に校注なし。
- 528 辯〓辞【大】
- 529 无〓無【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 解一切衆生語故六者施⁵³⁰无⁵³⁰所畏為衆⁵³¹无⁵³¹勝
- 14 故七者施法光明為不謬說故人者施其不
- 15 謬授記世尊我等亦能廣宣是法善男子我
- 16 涅槃後如是等天當護正法海慧菩薩言世
- 17 尊如來正覺涅槃之後若有信者應以此法
- 18 付囑其人令得久住爾時世尊眉間白毫放
- 19 大光明遍照三千大千世界如來化身充滿
- 20 其中⁵³²世⁵³²二相八十種好具足莊嚴數如三千
- 21 大千世界一切卉木莖節枝葉是諸化佻同
- 22 作是言十方諸佻積迦如來同願正法久住
- 23 於世何以故雖有一切惡魔眷屬不能破壞
- 24 如是等法大地可壞大海可⁵³³焦⁵³³須彌山王可

(第116紙) T13p074b05~

- 1 碎如塵衆生諸心可⁵³⁴令⁵³⁴是一虛空可⁵³⁵盡⁵³⁵四大
- 2 可轉諸佻誓願不可變易爾時世尊即告阿
- 3 難汝當受持如是等經誦誦廣說海慧菩薩
- 4 言世尊今此会中多有⁵³⁶无⁵³⁶量諸大菩薩如來
- 5 何緣顧命阿難令受持之時諸大衆咸有疑
- 6 心海慧阿難誰念心多爾時世尊知衆会疑
- 7 告大迦葉三千大千世界衆生數為多不甚
- 8 多世尊迦葉佻使如是⁵³⁷无⁵³⁷量衆生悉得人身
- 9 常⁵³⁸聞⁵³⁸如來如來所說不可窮⁵³⁹盡⁵³⁹有障礙善
- 10 男子如天降雨⁵⁴⁰无⁵⁴⁰有障礙一切衆流歸集大
- 11 海而是大海⁵⁴¹无⁵⁴¹增⁵⁴²无⁵⁴²減海慧菩薩所可受持
- 12 十方佻法亦復如是迦葉佻使三千大千世

⁵³⁰ 无⁵³⁰无⁵³⁰【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³¹ 无⁵³¹无⁵³¹【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³² 世⁵³²二⁵³²相⁵³²【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³³ 焦⁵³³无⁵³³【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁴ 令⁵³⁴合⁵³⁴【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁵ 盡⁵³⁵无⁵³⁵【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁶ 无⁵³⁶无⁵³⁶【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁷ 无⁵³⁷无⁵³⁷【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁸ 聞⁵³⁸无⁵³⁸【大】 大正蔵に校注なし。
⁵³⁹ 无⁵³⁹无⁵³⁹【大】 大正蔵に校注なし。
⁵⁴⁰ 无⁵⁴⁰无⁵⁴⁰【大】 大正蔵に校注なし。
⁵⁴¹ 无⁵⁴¹无⁵⁴¹【大】 大正蔵に校注なし。
⁵⁴² 无⁵⁴²无⁵⁴²【大】 大正蔵に校注なし。

- 13 界所有衆生具足⁵¹³捨⁵¹⁴持如阿難等欲比海慧
- 14 所受持法百分千分百万分不及其一說
- 15 是語時百千衆生發阿耨多羅三藐三菩提
- 16 心以妙⁵¹⁵香華奉⁵¹⁶上於⁵¹⁷仏⁵¹⁸供養海慧菩薩爾時
- 17 蓮華菩薩白⁵¹⁹仏言世尊若有人能信順受持
- 18 誦誦書寫解說其義供養恭敬如是經者得
- 19 幾所福爾時世尊即說偈言
- 20 若滿三千大千界 七宝奉施十方仏
- 21 不如信順是經典 受持誦誦福多彼
- 22 四法所成諸功德 仏説⁵²⁰无⁵²¹量⁵²²无⁵²³辺⁵²⁴数
- 23 發菩提心常法施 如法而住⁵²⁵脩⁵²⁶集悲
- 24 仏説四法⁵²⁷无⁵²⁸辺⁵²⁹量 智者聞已不怖畏

(第十一十七紙) T13p074b29~

- 1 虚空之性衆生界 如来正智菩提心
- 2 説如是等法宝聚時十方所來諸菩薩等以
- 3 妙⁵³⁰香華⁵³¹種種伎樂供養於⁵³²仏尊重讚歎作如
- 4 是言世尊若有人能受持誦⁵³³盡⁵³⁴寫解説如
- 5 是等經所得功德不可称量十方諸仏説不
- 6 能盡何以故世尊衆生若聞如是等經⁵³⁵无⁵³⁶有
- 7 不發阿耨多羅三藐三菩提心者是故此經
- 8 名大宝聚爾時一切大衆人天一切声聞及
- 9 阿難等諸迦楼羅⁵³⁷軻⁵³⁸闍婆等及世間人聞經
- 10 歡喜信受奉行
- 11
- 12 大方等大集經卷第十一⁵³⁹
- 13

543 捨⁵⁴³總⁵⁴⁴【大】 大正蔵に校注なし。

544 香華奉⁵⁴⁴上於⁵⁴⁵仏⁵⁴⁶華香貢上【大】

545 无⁵⁴⁵無⁵⁴⁶【大】 大正蔵に校注なし。

546 无⁵⁴⁶無⁵⁴⁷【大】 大正蔵に校注なし。

547 脩⁵⁴⁷修⁵⁴⁸【大】 大正蔵に校注なし。

548 无⁵⁴⁸無⁵⁴⁹【大】 大正蔵に校注なし。

549 華⁵⁴⁹花⁵⁵⁰【大】 大正蔵に校注なし。

550 盡⁵⁵⁰書⁵⁵¹【大】 大正蔵に校注なし。

551 无⁵⁵¹無⁵⁵²【大】 大正蔵に校注なし。

552 軻⁵⁵²闍⁵⁵³婆【大】 大正蔵に校注なし。

553 二⁵⁵³一⁵⁵⁴【大】

「盡」の中央に見せ消ち(朱点)あり、右傍に「書」(朱書)あり。

14 皇后藤原氏光明子奉為
 15 尊孝贈正一位太政大臣府君尊妣贈
 16 從一位橘氏大夫人敬写一切經論及
 17 律莊嚴既了伏願憑斯勝因奉資冥
 18 助永庇菩提之樹長遊般若之津又
 19 願上奉 聖朝恒延福寿下及寮
 20 采共盡忠節又光明子自發誓言弘

(第二十八紙)

1 濟沈淪勤除煩障妙窮諸法早契菩
 2 提乃至伝灯無窮流布天下聞名持
 3 卷獲福消災一切迷方会帰覺路
 4 天平十二年五月一日記

13 (後補軸付紙)
 12 昭和二年十一月修理之
 11
 10
 9
 8
 7
 6
 5
 4

帝室博物館総長大島義脩 (花押)

董事奈良帝室博物館長久保田鼎 (花押)